

平成 26 年度第 4 回二宮町障がい者福祉計画策定委員会 会議録

日 時：平成 27 年 2 月 18 日（水）午後 1 時 30 分～3 時 30 分

場 所：二宮町役場 第一会議室

出席者：萩原副委員長／相原委員／新井委員／橘川委員／

田中委員／鵜殿委員／菊間委員／小山委員／高山委員

事務局：西山健康福祉部長／黒石課長／佐竹／荻野

（1）開会

事務局：ただ今より、第 4 回二宮町障がい者福祉計画策定委員会を始めさせていただきます。本日は予めお渡ししている資料をもとに、会を進めさせていただきます。

（2）あいさつ

副委員長：お集まりいただきありがとうございます。この委員会は、本日をもって最終回ということになります。皆さんどうぞよろしく願いいたします。

（3）議事

副委員長：事務局からご説明をお願い致します。

事務局：先ず、予めお渡ししている資料の中に誤りがございました。お詫びを申し上げるとともに、訂正をさせていただきます。

- ◇ (52 ページ) 「子どもの悩みに寄り添う体制づくり」の「主な施策・事業」の「学校や地域での子どもと保護者の支援」→「学校や地域での子どもと保護者への支援」に訂正

第 3 回策定委員会から本日までの動きについてご説明させていただきます。第 3 回委員会で皆様からいただいたご意見やご質問について、庁内の各課に照会を行いました。また庁内各課からの意見をもとに、修正、加筆を行いました。1 月 9 日から 1 月 23 日まで、ホームページ等で計画の素案について町民の方々に意見募集を行いました。結果として、ご意見等はありませんでした。

※前回委員会における委員意見の反映状況について説明（詳細は以下の通り）

- ◇ (4 ページ) 内部障がいの説明を表記した。
- ◇ (6 ページ) 障がいの内訳「上肢」「下肢」「上下肢」「体幹」について、「肢体不自由」とまとめ、構成比率の中で最も多いと表記した。
- ◇ (7 ページ) 「多動性障がい」を「注意・欠陥多動性障がい」とした。
- ◇ (11 ページ) 人口予測について、3 年後、6 年後も記載してはどうかというご

意見をいただいたが、障がい者については大幅な増減が見込まれないため、記載しないこととした。

- ◇ (13 ページ)「湘南西部地区・地域保健医療計画」を「湘南西部地区地域保健医療推進指針」に修正した。
- ◇ (25 ページ)「8020運動推進員」の追加と解説を記載。
- ◇ (37 ページ)「ショートステイ施設の確保」を中期目標ではなく、短期目標にできないかとのご意見があったが、施設側の受け入れ体制、財政面等、様々な課題があるため、中期目標のままとした。
- ◇ (42 ページ)「福祉避難所」の文言の追加については、「地域防災計画」に掲載されており、本計画には掲載しない。
- ◇ (45 ページ)「誰にでも届く気象警報及び災害情報等の徹底」について、「中期目標ではなく、短期目標にできないか」とのご意見があったが、視覚、聴覚障がいの方にはメールやツイッター等に対応しているが、精神障がいを含めた三障がいへの対応となると短期では難しいことから、中期のままとしている。
- ◇ (47 ページ)「虐待防止対策の推進」「虐待の早期発見・防止」「成年後見制度及び利用支援制度」について追加。

その他、「障害」の「害」の字の使い方について、見直しを行いました。また「障がい者福祉」を障がい福祉」に統一しました。「生き生き」を「いきいき」と平仮名にするなど、漢字、平仮名の使い方の修正や誤字脱字を修正しました。

※庁内各課からの意見の反映状況について説明（詳細は以下の通り）

- ◇ 全体的に、装飾、フォント等を工夫した。
- ◇ (19 ページ) 体系図を挿入した。
- ◇ (25 ページ)「健康教室」と「保健師活動」を「健康教育」とまとめた。「健康指導」を「健康相談」とした。
- ◇ (45 ページ)「誰にでも届く気象警報及び災害情報等の徹底」（施策・事業名の変更）
- ◇ (51 ページ)「育児教室等の充実」「幼稚園・保育所における障がい児の受入れの推進」を追加。
- ◇ (52 ページ)「学校施設のバリアフリー化」を「学校施設設備の整備」に修正。「学校や地域で子どもを支える人材の確保」を「学校や地域での子どもと保護者への支援」に修正。
- ◇ (62 ページ)「吾妻山のバリアフリー化」を「吾妻山公園の一部バリアフリー化」に修正。

◇ (66 ページ)「まちの活動環境点検事業」を削除した。町としては、公共施設や駅周辺に重点をおいてバリアフリー化を進めている。国としても山梨県の笹子トンネルの崩落事故を受けて現状維持を優先しているため、町としても現状維持を基本としているとのことである。地区要望等あれば適宜対応する。

なお、前回小山委員から質問いただいた福祉教育について教育委員会に確認したところ、町内の小中学校全5校において、総合的な時間等で福祉教育を実施しているということです。

第1回の策定委員会でご説明しましたが、この計画は障がい福祉の基本となる計画ですので、今後の施策・事業の実施については、庁内各課や関係機関等と連携していきたいと考えています。また、計画の進捗状況についても、関係各課や自立支援協議会の中で調整、検討させていただきます。

副委員長：事務局より修正案が示されましたが、皆さまからご意見等ありますか。

委員：バリアフリー化については、道路を直してもらえるのでしょうか。シニアカーを運転していると、歩道がなく車道に降りなければならない箇所があります。坂道が多いですし、道路幅が狭いところもあります。南口のローソン周辺や中島辺りも坂が多く、百合ヶ丘は怖くて登れません。

副委員長：計画は基本的な考え方や方向性を示すもので、細かい点については各課の方で対応するというところでよろしいでしょうか。(了承)

それでは、議題としてはこれで終了としたいと思います。ありがとうございます。今日は最後の委員会ですので、皆さん一言ずつご挨拶をいただきたいと思います。この委員会に参加した感想、ご意見等をいただけたらと思います。

委員：これまでバリアフリー、ボランティアなど、テーマによってバラバラに対応してきました。今後は障がいの別に関係なく、パイプを1つにして活動していきたいと思います。障がい者スポーツなど皆が顔をあわせながら、楽しみながら活動していきたいと思います。行政としても窓口がバラバラだと財政面で大変だと思います。よろしくお願いします。

委員：これまで、身体障がい、聴覚障がい、視覚障がいのことだけしか知りませんでしたが、この委員会を通じて、他の障がいのことや団体のことを知りました。これらの動きが1つになると良いと思いました。障がい者スポーツでは代表になり広報に掲載していただきましたが、活動を伝えることで他の方が「自分も頑張ってみよう」という気持ちになっていただけたら良いと思いました。8月からこの委員会に参加させていただいて、様々な障がいをお持ちの方、事業者の方などのお考えを知ることができました。年に数回位は、一緒に楽しめる機会を企画し、

交流できると良いと思っています。小中学校で福祉教育の時間があると言われていましたが、小さいお子さんというよりも、小学校4年生から中学生年代のお子さんに対して、それぞれが出来ること、こういう可能性があるということを伝えていきたいと思っています。

委員：障がいの状況や立場によって計画に対する希望は違うと思います。これからしっかりと計画を推進していただきたいと思います。また、町に持って行かなくても、団体同士が話し合っ進めていけることがあるかな、と思いました。

委員：障がい者人口の予測をみると、精神障がい者は他の障がいに比べて特に増えると予想されています。統合失調症の場合、自分自身が障がい者だということを認められないし、家族も地域に言いたくないということがあります。発症するのが思春期であり、早期に受診すればいいのですが、どうしても対応が遅くなってしまうことがあり、相談したくてもどこにもって行っていいかわからないということがあります。家族会につなげていただければ早期に対応できると思いますので、家族会について広報等で知らせていただくと良いと思います。検討をお願いします。このような福祉の検討の場に初めて参加させていただきました。これまで他の障がいの方と交流の機会がありませんでしたが、良い形で交流をしながらスクラムを組めたらと思いました。貴重な時間を持てたと思っています、ありがとうございました。

委員：二宮は住民の定住意向が非常に高いということで、素晴らしい町だと感じ、羨ましく思っています。このような機会を通じて、三障がいそれぞれの状況等について理解できました。精神障がいについては保健福祉センター保健予防課で精神保健相談を行っていますので、活用していただきたいと思います。

他の自治体で福祉大会があり、子ども達が福祉に関する作文を発表されていました。そのようなイベントが年に1回でもあると、理解や教育が進むのではないかと思います。ボランティア活動については、有償、無償それぞれあると思いますが、支援者を広げていくことが大事だと思います。

委員：人口減少で町村が消滅すると聞いていますが、そのようなことのないよう町が豊かなままであったほしいと思っています。障がいのある方の実情を知ってもらうということが必要だと思います。町の広報などを読んでいますが、もう少しアピールすることが必要かなと感じています。計画についての意見募集についても、特に意見が出なかったとのことですが、良かったという気持ちが半分、物足りないという気持ちが半分です。町民の関心が低いのかなと思います。立派な計画ができましたので、84 ページにあるような計画の進行管理及び評価が大事だと考えています。いろいろな立場でフリーに意見交換、情報交換ができる機会があれば良いと思っています。

委員：障がい者の親として公の場に出るのは、この委員会が初めてでした。勉強になる

良い機会でした。委員会に参加しなければ、この計画のことを知らなかったと思います。この計画が実現できれば10年後は素晴らしい町になると思います。計画の進捗状況をフィードバックしていただければと思います。子どもがお世話になった町外の療育施設が、3月いっぱい一時支援事業を止めるということです。二宮に住んで10年ですが、とても良い町だと思いますので、障がい福祉の面でも良い町になることを望んでいます。

副委員長：私は副委員長という大役を仰せつかりましたが、その後秋澤さんが亡くなり、いまだにショックを抱えています。秋澤さんの代わりが十分に果たせず申し訳ありませんでした。昔から秋澤さんと2人でこうなったら良いね、あんなったら良いね、と話をしてきましたが、振り返るとこの30年位で変わってきた部分がたくさんあります。これからも歩みを止めることなく踏ん張っていきたいと思っています。

ただ、恐ろしくなる程、働き手が減っています。先ほど事業縮小の話がありましたが、そういう方向にならざるをえない状況です。「皆さんでまとまって未来に進んでいきたい」というご意見に感銘を受けました。一事業者として皆さんと一緒にがんばっていきたいと思います。

(4) 閉会

事務局：長い間ご審議をいただき、ありがとうございました。皆さんから貴重なご意見をいただきました。秋澤委員長が亡くなられたという非常に残念なことがございましたが、萩原副委員長に引き継いでいただき、円滑に進めていただきました。ありがとうございました。来年度から計画に沿った形で事業を進めていきますが、事業の進行管理については、皆様方にご意見等を伺う場面もあるかと思っておりますので、よろしくお願い致します。

事務局：計画につきましては、議会で承認された後、印刷、製本となります。皆様には完成版をお渡ししたいと思います。

委員：バリアフリー化についてお聞きします。西友の所ですが、歩道橋を渡って病院にいかなければならない状況で、高齢の方や障がいのある方はきついと思います。横断歩道を設置すればよいのではないかと思います。いかがでしょうか。

事務局：その話は、町でも承知しています。担当課から何等かの方策が出てくると思います。

以上